

北区役所だより

潟と大河と日本海、水の恵みに生まれ、人と人がつながり、心豊かに支え合い、発展するまち

令和8年(2026年) 3月15日号

毎月第1・3日曜日発行
Vol.455

編集・発行 新潟市北区役所地域総務課

〒950-3393 新潟市北区東栄町1丁目1番14号 ☎025-387-1000(代表) ☎025-387-1020
ホームページ <https://www.city.niigata.lg.jp/kita/> 電子メール chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

北区 人口 69,247人(-121) 男 33,788人(-40) 女 35,459人(-81) 世帯数 30,290世帯(-23) ※令和8年2月末現在 カッコ内は前月比 住民基本台帳から

問い合わせ 地域総務課(☎025-387-1175)

北区自治協議会だより

地域と行政をつなぐ

第24号

区自治協議会とは？

区自治協議会は、区の皆さんと市との協働の要として、地域課題の解決などに取り組むため、区ごとに設置している市長の附属機関です。

令和7年度 主な議題



▲自治協議会の様子

令和7年8月 三ツ森保育園の閉園計画(案)について(意見聴取)
12月 令和8年度「北区特色ある区づくり予算事業(案)」について(意見聴取)
令和8年1月 濁川運動広場野球場の廃止(案)について(意見聴取) など

特色ある区づくり予算編成や、施設の設置・廃止検討などについて審議し、区民の立場から意見を伝えるよ！



次回自治協議会のお知らせ

日時 3月26日(木)午後1時半～(傍聴受付午後1時20分～)
場所 豊栄地区公民館
傍聴 6人(受付開始時に定員を超える場合抽選)

区自治協議会提案事業にむけて調査・研究に取り組んでいます！



区自治協議会では、地域課題の解決に向けて、分野ごとの部会で事業を実施しています。令和7年度は、令和8年度の事業実施に向けた準備期間として、調査・研究を進めるとともに、令和8年度の計画立案を行いました。今回は、調査・研究内容を報告するとともに、令和8年度の計画をちょっとだけ紹介します。アンケートやイベントの実施を予定していますので、皆様のご協力・ご参加をお願いします。お楽しみに！

地域づくり部会

新潟食料農業大学(胎内キャンパス)視察

北区にもキャンパスを有する同大学を視察し、研究内容や地域連携についてお話を聞きました。新しい研究分野への挑戦や、周辺地域の課題解決、活性化に向けて積極的に取り組んでいることがわかりました。



▲視察の様子

視察を踏まえ、北区においても、大学と連携し地域課題を解決する取り組みを検討するワークショップを実施しました。



▲ワークショップの様子

令和8年度の計画

新潟食料農業大学と連携し、北区産の農産物の魅力発信および地産地消の推進を図る事業を実施する予定です。

福祉教育部会

こども食堂視察

東区役所庁舎3階にある「地球の子供食堂と宿題Cafeひがしく店」を視察しました。



▲視察の様子

こども・子育てについて

保育士、公認心理師・臨床発達心理士の丸山マチ子さん、新潟県立大学角張慶子教授から、地域としてできることや、いまどきの子育て事情などについてお話を聞きました。見守りやささいな声掛けも子育て世帯の支えになることを学び、次年度の事業を検討するうえで大きなヒントとなりました。

令和8年度の計画

地域がこどもの健やかな育ちや子育て世帯の支えとなることを目指して、アンケートの実施やリーフレットの作成を予定しています。

自然文化部会

北区の自然施設視察

北区の水辺や自然施設を視察しました。十二潟や福島潟、海辺の森を訪れ、施設管理者や地域の皆さんから自然環境や保全活動について学びました。昼食には福島潟で採れた食材を使った「潟弁当」をいただき、自然の豊かさを実感しました。



▲視察の様子

美味! 潟弁当

- ・ハスの実の炊き込みご飯
- ・ブラックパスのみそ漬け焼
- ・ライギョフライ
- ・フナの酒かすみそ煮
- ・塩ゆでザリガニなど



令和8年度の計画

北区の自然(水辺)に触れて、親しみながら環境保全の意識を高めるイベント「スポGOMI」大会の実施を予定しています。



江南区自治協議会と合同で委員研修会を開催しました。

3月5日(木)、北区自治協議会と江南区自治協議会による合同研修会を開催し、両区あわせて26人の委員が参加しました。江南区郷土資料館で亀田縞の歴史について学び、北区郷土博物館では葛塚縞の手織りを見学し、地域の伝統や文化への理解を深めました。研修会の最後には、区自治協議会提案事業などについて意見交換を行い、それぞれの取り組みや工夫を共有しました。委員からは「他区の事業や地域の特色を生かした地域づくりについて、知ることができて参考になった」などの声が聞かれました。